

グリーン島、そしてグレートバリアリーフへようこそ!

本当の熱帯の島で冒険に満ちた一日を体験しよう! 空で、陸で、海で心の底まで楽しもう! ただゆったりと「島の時間」を過ごして英気を養うのも、最高です!

海に飛び込んで泳いだ後は、シー・カヤックで海沖に漕出してはいかが? 船底から海中生物を眺めるガラスボートツアー、散策ピクニックも楽しめる熱帯雨林ツアーの他、快適なビーチラウンジでごゆっくりくつろぐのもおすすめです。ご自由にお好みのプランをどうぞ。

「グリーン島へようこそ! 世界遺産の熱帯雨林、美しい白砂海岸、温水の紺碧の海、岸から泳いで行けるサンゴ礁など、ここぞグレートバリアリーフの真骨頂、グリーン島より楽しめる所なんてありません!」
警備員のウェインさん



陸と海の国

ようこそグリーン島へ! この島はアボリジニ(先住民) ゲンガンジ族の原語で「ウンヤミ」と呼ばれ、特別な島として愛されてきました。この島の周辺の岩礁は、古代から現代に至るまで、ゲンガンジの文化に大変重要な影響を及ぼしています。特にケアンズ南方に位置するヤラバの土着民にとって、こちらの岩礁は、昔も今も重要な自然資源なのです。ヤラバには、万物の創造話を始めとする、陸と海の国についての民話の他、絵画、音楽、踊り、民話がたくさんあります。それらを若い世代に継承していくため、そして世界の方々に理解していただくため、ゲンガンジは先頭に立って活動しています。この文化と自然の保護に皆様のご協力を心よりお願いいたします。

今日ゲンガンジ族は、未来に目を向けています。私達は過去、耐えがたい苦難を克服してきた長老達(中には既に故人となった方もいます)、ゲンガンジ規定法人団体(PBC)、先住民の権利保護団体(RNTBC)に敬意を表します。私達がこの国に戻って来られるよう、先人達は長い道のりを歩んできました。今も、私達の知識、習慣、伝統を次世代の子供たちに伝えるために踊りや民話、儀式を行っています。それらがグリーン島を「よみがえらせ」のです。高齢者も若者も、私たちの故国です。
ゲンガンジ族の人々 PBC, 2016



グリーン島を探索する

周囲を白砂の海岸で取り囲まれ、長い時をかけて天然のサンゴだけからなる熱帯雨林の岩礁グリーン島は、グリーン島国立公園とその周囲に広がるグレートバリアリーフ海洋公園の両方にまたがる世界遺産の自然環境です。

海の中を探索する

天然の自然と向き合おう。熱帯のグリーン島の水面下、蒼く美しい水中のワンダーランドに入ってみよう。まだ多くの人が足を踏み入っていない海岸でシュノーケリングができます。色鮮やかな熱帯魚が散らばるサンゴの暗礁、亀が住みかとする海藻床。島周辺のサンゴ礁と海藻床の違いを直に見比べてみましょう。シュノーケリングをする最も安全な場所は赤い旗と黄色の旗の間です。

シュノーケル、ダイビング、海底歩行、ガラスボートに半潜水ツアー。グリーン島では、グレートバリアリーフ探検を様々な方法で満喫できます。

グリーン島の周囲をシュノーケリング。亀や熱帯魚たちと目を合わせてみよう!
写真: © Big Cat Green Island Reef Cruises (右); Maxime Coquard © Qld Govt (下); © クイーンズランド州政府 (一番左)



マリンランド・メラネシアではユニークな海の体験ができます!
Photo: © Big Cat Green Island Reef Cruises



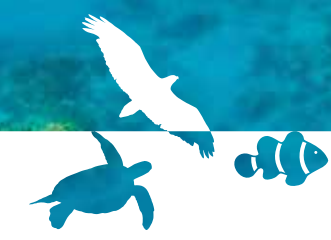
島内を探索する

陸の上でも、グリーン島は魅力たっぷり。森中を駆けめぐる種々のトカゲ、熱い空を舞う美しい蝶。120種を超える植物と約50種の鳥たちが生息するグリーン島には、熱帯雨林を探索する楽しみがぎゅっと詰まっています。

鳥のようにパラセーリングやヘリコプターで空からの眺めを楽しむスリルのある体験はいかが? マリンランド・メラネシアに生息する100歳を超える世界最大の捕獲ワニ、カシウスに会いに行こう。



グリーン島 国立公園とその周辺



- 泳ぎやシュノーケリングは、必ず二人でペアを組み、個人用の救命用具や浮き輪を身につけましょう。
- 休憩所を使用するか、砂の上で休息して珊瑚を守りましょう。珊瑚または珊瑚岩の上には立たないでください。
- 温暖な季節になると有毒のクラゲの数が増えます。泳ぎやシュノーケリングをする方は、ステイナースーツを着用し、クラゲから身を守りましょう。
- 水中への出入りが最も容易なのは満潮時（ハイ・タイド）です。その時間帯にシュノーケリングや泳ぎをするように一日の予定を立てましょう。
- 日焼け対策を万全に！帽子、日焼け止めを忘れず、たっぷりと水を飲みましょう。
- ツアーガイド、ライフガード、公園管理官からの警告や、案内板に記された安全に関する指示に細心の注意を払ってください。
- グリーン島と周囲の海洋は、「捕獲禁止」区域です。動植物に触ったり、手に取ったり、持ち出したりしてはいけません。違反者は、公園警備員によって罰金が科せられます。
- 鳥や動物などの野生生物に餌をやってはいけません。
- 害虫の持ち込み禁止！衣服・履物・所有物に、土・種子・植物の一部・卵・昆虫・クモ・トカゲ・ヒキガエル・ラット・ネズミなどがいないことを確認してください。
- ごみくずや衣服に付着した植物または草の種子は全て、ごみ箱に入れてください。
- 島の大部分は禁煙です。指定された喫煙所以外では、喫煙しないでください。吸い殻は、備え付けの専用の吸い殻入れに入れてください。
- グリーン島またはグリーン島の岩礁の上にドローン（無人の飛行物体）を飛行させないでください。

充実した施設

グリーン島には様々な施設が完備しております。

- グリーンアイランドリゾートではトイレ、シャワー、ロッカー、食事および軽食は、どなたでもご利用いただけます。シュノーケル用具は、リゾートのダイブショップ (DiveShop) にあります。
- タオル、ビーチパラソル、日光浴用デッキチェアその他、マリンスポーツに必要な非電動用具は、Beach Hireで貸出しています。監視員がいる遊泳可能な海岸地域の後方防波堤の左側にあります。

ボート遊びと釣り

全長20mまでのボートは、当島近くにある3つの公営の係留所で安全に停泊できます。サンゴに錨を下ろすことは禁止されていますので、係留所に係留できない場合は、砂の上に錨を下ろしてください。立入禁止区域（地図でご確認ください）へのボート乗り入れはできません。グリーン島周囲の水域では、釣りおよび電動のマリンスポーツは禁止されています。さらに詳しい情報は、gbrmpa.gov.auをご覧ください。

島を安全に見て回るために

グリーン島への旅行がよい思い出になるよう以下の安全事項をお守りください。

- マリンスポーツを行う方は初心者だけでなく、必ずライフガード（救命人員）、シュノーケルのガイド、ダイビングインストラクターなどの方々の助言と指示に従いましょう。最も安全に泳ぎやシュノーケルが楽しめるのは、赤い旗と黄色の旗の間です。

アクセス

ケアンズの沖合わずか27kmのところにあるグリーン島を訪れるのは至って簡単！ ツーリスト・フェリーの他、ボートやヘリコプターなど、スリリングな移動手段が様々にそろっています。島への往復も旅の思い出の一コマにしましょう！

詳しい情報

 qld.gov.au/NationalParks

 qld.gov.au/ParkAlerts
(アクセス、閉鎖、状況)

 [qldnationalparks](https://www.facebook.com/qldnationalparks)

 [@QldParks](https://www.instagram.com/QldParks); [#QldParks](https://www.instagram.com/HashtagParks)

本冊子は、インターネットでも入手できます

qld.gov.au/ParkBrochures

ホリデープランについては、queensland.com

または tropicalnorthqueensland.org.au をご参考ください。



スキャンして公園の注意情報をチェック



グリーン島を探索する



歩いて回るグリーン島

グリーン島では、本物の熱帯の自然を楽しめます。以下のイージーウォークコースで、島をマイペースで散策してみましょう。

クイーンズランドの宝物

グリーン島は1937年に国立公園、1974年に海洋公園の指定を受け、さらに1981年、グレートバリアリーフ世界遺産地域の一部として公認されました。オーストラリア政府およびクイーンズランド州政府は、グリーン島を極めて特別な場所と認め、

グリーン島でしてみたい体験トップ6

- 1 ウミガメを直に見る。ウミガメの発見は防波堤や海岸からでも可能ですが、シュノーケリングやダイビング



ビーチウォーク

1.5km 周回 | 所要1時間

島の周囲を歩いて、島の隅々を見てみましょう。砂地でもすくすく育つビーチアーモンドやモクマオウの木。上空を舞うミサゴやシロハラウミワシ。サンゴ礁を見やりながら砂浜を散歩すると、足元を波が洗っていくでしょう。

ボードウォーク (遊歩道散策)

1.3km 往復 | 所要50分

遊歩道に沿って、そぞろ歩きを楽しみましょう。熱射が遮られる雨林の中に足を踏み入れれば、気温が下がる感じがするかもしれません。チーズフルーツの木、ツタの絡まるイチジクの木、地面をちょこまか走り回るナンヨウクイナも探してみましょう。

防波堤ウォーク

500m 往復 | 所要30分

サンゴ礁の別の眺めを楽しみたい方なら、防波堤から水中の海洋生物をはっきりと見ることができます。足元を泳ぎ回る色とりどりの魚の大群や、アカエイ、ウミガメなどに驚くことでしょう。

下記のように島を保護しています。

- 岩礁および水中に生息する生き物は、グレートバリアリーフ海洋公園の一部です。
- グリーン島とその岩礁は、グレートバリアリーフ世界遺産地域の一部であり、UNESCOの国際保護の管轄下にあります。
- グリーン島は国立公園です。周囲の水域も海洋公園に指定されており、商業活動は全て規制されており、許可が必要です。

初めての島

豊かな過去と現在に彩られるグリーン島は、次のように初めて行われたことばかりです。

- グレートバリアリーフで初めて観光客が訪れた島
- 船底がガラスのボートが初めて就航した島
- 世界で初めて海中展望塔と島の映画館が設置された島
- オーストラリアで初めて下水の三次処理施設が建設された島。

グリーン島は、クイーンズランドで初めて国立公園に認定された島でもあり、周囲の渚と岩礁も初めて保護海域になりました。今日、この島は唯一の雨林サンゴ礁をとどめており、グレートバリアリーフで最も多彩な植物相を有しています。



グをすれば、間近でご対面の可能性がさらに増します。

- 2 色鮮やかな熱帯魚の大群の中を泳ぐ。クジラを見つける。クジラは7月～9月が移動の季節です。このとき、遠くにクジラの姿を望むことができます。
- 3 遊歩道沿いを歩きながら、見事な熱帯雨林を眺め、その音に耳を傾けてみる。
- 4 サンゴ礁ツアーや海の中体験ツアーで冒険心を呼び起こす。
- 5 島の歴史と自然環境について書かれた遊歩道沿いの案内板を見つけて読んでみる。
- 6 白砂の岸辺でサンゴ海の青緑色の水を見つめながら、のんびり過ごす。



写真: Maxime Coquard © Qld Govt (写真 1, 3, 6 および右上);
© Big Cat Green Island Reef Cruises (写真 2, 4);
© Great Adventures (写真 5)